

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査書

都道府県名	大分県	事業実施主体	大分県、玖珠町	地域再生計画名	豊かな資源を活かした活力あふれる玖珠町まちづくり計画
計画期間	平成28年度～令和2年度	評価責任者	大分県農林水産部林務管理課長 中野賢路、玖珠町建設水道課長 穴井智志		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標	内容	基準年度	年度	中間実績	基準年度	年度	指標総数		達成数			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	森林整備区域の増加	10.5ha	H 2 7	11.0ha	H 3 0	15.6ha	11.7ha	R2	○	3	3	林道の開設に伴い、森林整備が進んだため、中間目標値を達成した。
	指標 2	年間観光客数の増加	194,935人	H 2 7	197,000人	H 3 0	250,047	200,000人	R2	○	3	3	耶馬溪の日本遺産認定及び道の駅慈恩の滝くすの盛況により観光客数が増加したため、中間目標値を達成した。
	指標 3	圏域内施設間アクセス時間の短縮	35分	H 2 7	33分	H 3 0	33分	30分	R2	○			山浦地区へのアクセスが改善され、中間目標値を達成した。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1												
	指標 2												

③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度(H30)	最終実績見込み	
特別措置を適用して行う事業	町道中野線整備事業	540m	180m	540m	平成31年4月までに起点終点部の改良工事を完了しており、引き続き事業を実施し令和元年度中に残区間を完了する予定である。
	林道大原野線整備事業	3,300m	1,920m	3,300m	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は、58%と若干の遅れが伺えるが、R2年度事業実施により、全体に関しては完成する見込みである。
その他の事業					
計画外で独自に実施した事業	社会資本整備総合交付金事業（県道菅原戸畑線）	山浦地区から玖珠町中心部へのアクセスの向上を図るため、国道210号から山浦地区までの道路の整備を行う。			県道菅原山浦線（路線認定に伴う路線名変更）は、平成28年度に2車線改良工事が完了しており、山浦地区から玖珠町中心部へのアクセスの向上が図られている。
	農道整備事業（基幹農道第2大原野線）	第1大原野地区からの農畜産物の流通向上を図るため、町道大原野線から県道菅原戸畑線までの道路の整備を行う。			農畜産物の流通向上を目的として、現在第1期計画が終了し、引き続き第2期計画を実施中である。延長としては、6割以上完成しており、早期完成が望まれている。
	市町村道改良事業（町道下園線）	下園地区から玖珠町中心部へのアクセスの向上を図るため、農免農道花下線から県道菅原戸畑線までの道路の整備を行う			日常の維持補修を行い、下園地区から玖珠町中心部へのアクセス向上を図っている。
	地域資源を活かしたイベント等の推進事業	玖珠町内の地域資源を活用したイベント等を開催し、県内外からの集客を図る。			・豊後森機関庫公園（電気列車運行）(10月) ・西日本パラグライダー大会(5月) ・日本童話祭(5月)・万年山 山開き(5月下旬) ・ウォーキング大会の開催(万年山・伐株山・鏡山等)(5月)・玖珠祇園大祭(7月)・童話の里夏まつり(8月)・機関庫まつり(10月) ・空からサンタがやってきたフェスティバル(12月) ・情報発信基地「道の駅」における「まちめぐり」コースの提案強化(平成29年度) ・グリーンツーリズムの推進(棚田稲作・椎茸栽培等)(5月・10月)
	森林づくり提案事業（千年の森林づくり）	植樹場所の森林整備（7月に草刈り、交流研修会）を行い、森林の重要性を相互に理解して水源林造成を行う。			筑後川上流の水資源の育成を図り、将来においても豊かな水を生み出せるように森林育成と保全のため、大分県玖珠町ふるさとキャラバン隊の主催により、伐株山の麓にある「千年の森」において、下草刈りを行った。(H30.7.25)
	お山のお仕事体験！	間伐並びに丸太切り等森林施業に係る作業の体験学習及びコースター作り等の作業を通し、山の仕事並びに森林資源の有用性について啓発を図る。			未来を担う子供たちに、「国土の保全、水源の涵養(かんよう)及び木材生産」など、「森林の多面的な機能」を伝えるとともに、これらの森林の機能を発揮させるためには、「森林の適切な整備・保全」が必要なることを理解していただくことを目的に、林業体験や森林教室など体験型学習を実施した。ただし、平成22年度実施以来、その後の活動はできていない。
	緑の少年団	地域を取り巻く森林資源の保護、育成、調査及び学習等多様な内容について継続的に取組むことで、森を大切にすることを育み、環境緑化に貢献することを目標に活動を展開する。			長年にわたり野鳥観察や植樹活動を実施し地域の環境緑化に貢献したことが大分県功労者団体として知事表彰(H27年2月)を受け、TOSみどり森守財団主催の山と海との交流事業である海辺の清掃、自然観察等の学習活動に参加した。その他の活動、大分県マリンカルチャーセンターで海の体験活動(H28年2月)、みどりの募金活動(毎年11月、日田天領まつり)

④評価方法 学識経験者等の第三者の意見を踏まえ、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。(R1.8.21、22)

⑤中間評価の公表方法 大分県・玖珠町のホームページに掲載。

⑥計画全体の総合評価 本地域再生計画では、道整備交付金を活用した町道整備と林道整備を一体的に行うことにより、広域道路ネットワークを強化することで、2ルート以上の木材搬出路や観光周遊コースの確立させ、林業の活性化及び観光資源へのアプローチを充実させた豊かな地域資源を活用した地域再生を図ることを目的としている。指標1～指標3は、ともに目標値を達成しており、引き続き地域再生計画の事業展開を図っていくものである。

⑦今後の方針等	中間評価結果の反映状況	有りの場合その具体的内容
	地域再生計画の見直し（有・無） 令和2年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額 千円	有 無

⑧今後の方針等に対する対応 特になし。